

味噌川ダム 特別防災操作による 河川水位 低減効果

独立行政法人 水資源機構が管理する味噌川ダムでは、8月12日からの降雨により増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む通常の「防災操作」に変えて、ダムから放流する量を減らす「特別防災操作」を行いました。この操作により、味噌川ダムの下流約20kmにある大手橋地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約0.2m低減出来ました。

* 防災操作とは、大雨などの際、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込み、ダムから下流へ流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作です。味噌川ダムでは、流入量50m³/sを超える分をダムに貯留します。今回は、ダムへの流入量30m³/sを超える分をダムに貯留する特別防災操作を実施しました。

今回の防災操作

木曾川水系味噌川の味噌川ダム流域では、8月12日から8月15日までに総雨量 350.4 mmの降雨を記録しました。

この降雨により味噌川ダムでは、最大流入量毎秒 約 130 立方メートルの時に、約 77 %に相当する毎秒 約 100 立方メートルの水をダムに貯留し、合計で約 499 万立方メートルを一時的に貯留することで、河川水位の上昇を抑える特別防災操作を行いました。

※今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。

水がささえる豊かな社会



独立行政法人
水資源機構

令和3年8月16日

独立行政法人 水資源機構 味噌川ダム管理所

配布先

信濃毎日新聞 中日新聞 読売新聞
市民タイムス MGプレス

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 味噌川ダム管理所 所長代理 横尾
住所: 〒399-6203 長野県木曾郡木祖村小木曾 2058-22
TEL: 0264-36-3111 FAX: 0264-36-3485
HPアドレス: <https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/index.html>

味噌川ダム位置図



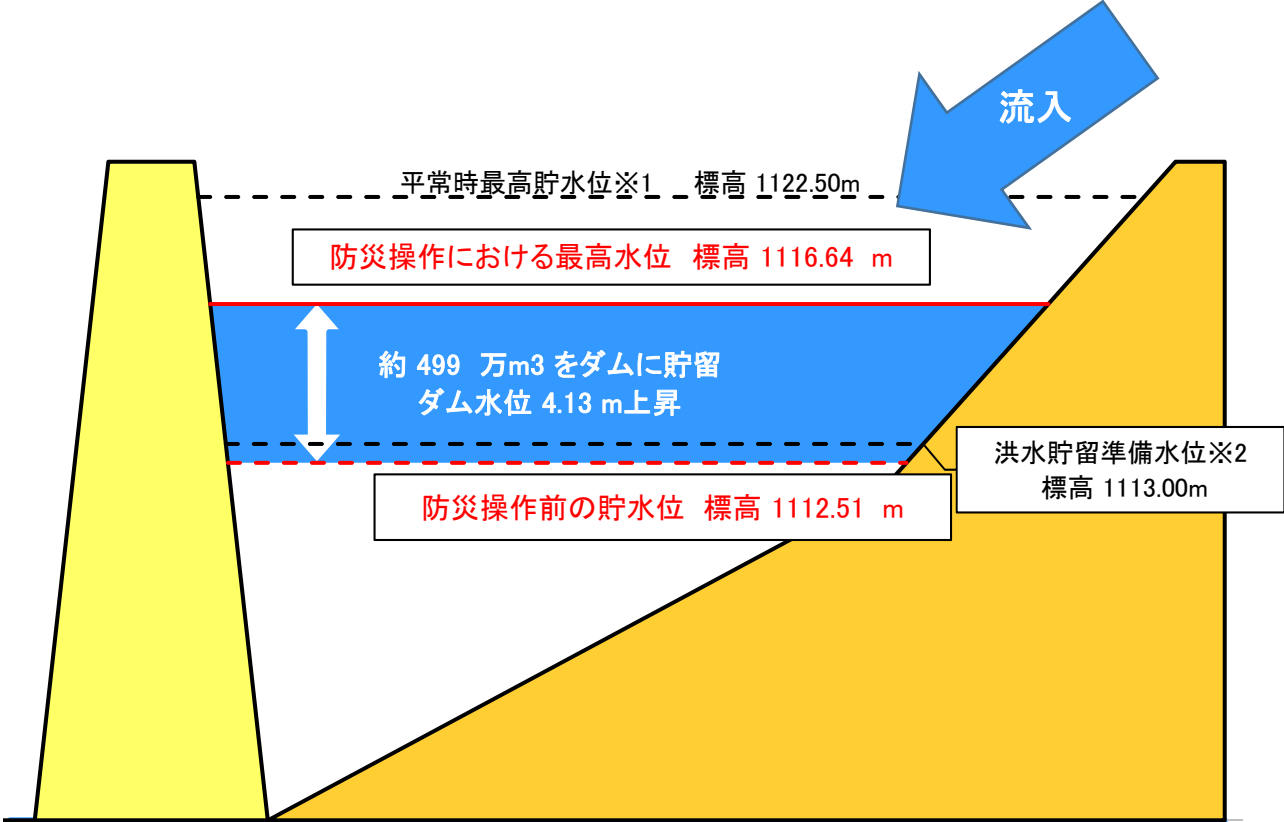
味噌川ダム防災操作（イメージ図）

ダム防災操作 YouTube 動画



【流入量】
ダムに流れ込んだ水の量
①最大流入量 毎秒 約 130 立方メートル

最大流入量のうち、約 77%の
毎秒約 100立方メートル
(①-②)をダムに貯めました。



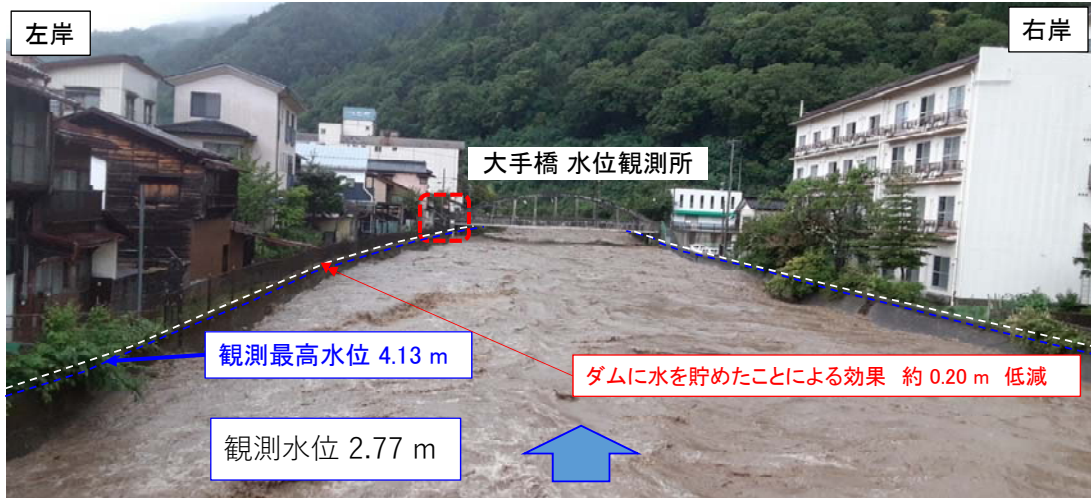
【放流量】
ダムから下流河川へ流した水の量
最大流入量時の放流量

②毎秒 約 30 立方メートル

※1 平常時最高貯水位：洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位
※2 洪水貯留準備水位：平常時にダムによって貯留することとした流水の最高水位

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

大手橋 水位観測所地点 現地写真(8月15日9時撮影)



撮影日時: 令和3年8月15日

9:08

大手橋 水位観測所地点 現地写真(洪水前)



撮影日時: 令和3年8月12日

10:30

崖家造り(大手橋 水位観測所下流) 現地写真(出水時)



撮影日時: 令和3年8月14日

12:21

崖家造り(大手橋 水位観測所下流) 現地写真(出水前)



撮影日時: 令和3年8月12日

10:39

味噌川ダム貯水池状況

降雨前



撮影日時:

令和3年8月12日

11:36

撮影時の貯水位:

EL. 1112.54 m



8月15日
15時頃の状況



撮影日時:

令和3年8月15日

15:32

撮影時の貯水位:

EL. 1116.64 m

味噌川ダム防災操作図 令和3年8月14日 ~ 15日

